

## 海を守るための「赤土」のはなし

恵みの雨をもたらす梅雨の季節がやってきました。私たちの生活を支える雨ですが、激しい雨は時に陸地の土を海へと運んでしまいます。赤土の流出防止は恩納村の豊かな海の生態系だけではなく、陸域の生態系も守っています。

### 栄養豊富な赤土がなぜサンゴの大敵なの？

サンゴにとって、赤土の流出は深刻な問題です。海が濁ると、サンゴと共生する褐虫藻が光合成できなくなったり、サンゴの上に土が積もると、サンゴが息をできなくなってしまう。赤土はとても粒子が小さいので、すぐに沈殿せず、いつまでも海の中を漂い続けます。美しい海を守るためには、まず陸域の環境を整えることが不可欠なのです。



海に赤土が流れ込んだ様子

### 恩納村の主な取り組み

村では赤土が海へ流れるのを防ぐために「グリーンベルト」の設置を推進しています。ここで活躍しているのが、しっかり根を張る植物「ベチパー」。畑の周りにベチパーを植えることで壁となっており、土の流出を食い止めます。この取り組みを多くの人に知ってもらうためにベチパーでブレスレット「ミサンゴ」を作るワークショップを開いたり、刈り取ったベチパーで工芸品や資材として活用する「地域循環プロジェクト」も進行中です。

このほかにも、休耕地で花を植え養蜂をする「ハニー&コーラルプロジェクト」や、サトウキビなどの葉ガラで畑を覆う「葉ガラマルチング」のような取り組みが村外からも高く評価をされています。

(お問い合わせは農林水産課 ☎966-1202)



グリーンベルト



葉ガラマルチングの効果



ベチパー植え付け



工芸品

沖縄県でもこんな対策が!!

### 工事を行う時は、流出防止措置が必要

沖縄県では切土や盛土等によって土地の形を変えるような行為(事業行為)を行う場合に、事業現場から赤土等が流出しないように防止措置を講ずる努力義務が課せられており、1000㎡を超える場合には着工前に沖縄県への防止対策の届出が必要です。

今日からできる！アクション ～家庭の庭や空き地から土が流れ出していませんか？

- ▶ 地面をむき出しにしない  
芝生を植えたり、マルチシートで覆ったりするだけで、赤土の流出は大きく抑えられます。
- ▶ 側溝をきれいに  
詰まった土を取り除くなど、身近な掃除が最終的に海を守る一歩になります。

お問い合わせ：企画課 ☎966-1201